



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石 叫

「素通り」

四月二十四日(火)付けの『ラフ新報』に「救助を求める漂流者を素通り」という主題のもと、「パナマ沖航行中の豪華客船：二人死亡、一人は雨水で生き延びる」とあった。何という乗務員の無責任かと思わずカッカしてしまった。

米豪華客船の乗客らが先月、中米パナマ沖の太平洋で、約2週間にわたって漂流していたパナマの小型ボートから男性3人が助けを求めているのに気付きながら、客船は救助に向かわず素通りしていたことが分かった。AP通信が十九日に伝えた。3人のうち2人はその後死亡。1人は漂流から約1ヶ月後に救助された。乗客は客船の営業担当者にボートのことを伝えたが、客船の運営会社は目撃情報で船長には届いていなかったと説明。救助されたパナマ人のアドリアン・バスケスさん(十八歳)は「彼らを絶対に許さない」と強く憤っている。2月二十四日に友人2人と漁に出たが、エンジンが故障し漂流した。3月十日、パナマ沖を航行中の豪華客船スター・プリンセス号の船上から、双眼鏡でバードウォッチングをしていた乗客らが、必死になって衣類を振っているバスケスさんらを見発見。乗客らは客船の営業担当者にも確認させ、この担当者は「乗組員に伝える」と約束したが、客船はそのまま通過した。友人2人は衰弱して死亡。バスケスさんは雨水を飲むなどして生き延び、パナマから九百キロ以上離れたエクアドル領ガラパゴス諸島近くで3月二十五日に漁船に救助された。

これを読みながらルカ十章の「良きサマリヤ人」の記事を思い浮かべていた。エルサレムからエリコに向かう途中、ある人が強盗に襲われて半死半生になった。そこを通りかかった祭司がこの人を見ると、彼は向こう側を通って行った。同様にレビ人も向こう側を通っていった。一方、あるサマリヤ人が彼を見て気の毒に思い、彼を介抱し最後まで助けたという内容である。祭司、レビ人とはイスラエルのエリート集団である。人を助けるのは特に律法を厳格に遵守する彼らにとって最優先の仕事であったのに、その人物を素通りして行った。彼らにも彼らなりの理由があったのだと思うが、自分の都合を優先させてしまった。実に素通りとは他者に重大な結果をもたらすことを知りつつも自分を先行した結果である。自己優先ほど大きな罪はない。逆にサマリヤ人が自分の事のように他者を「気の毒」に思ったという痛みを伴う愛を持ちたいものである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在では日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

